

ex 369

164  
775

北桑田郡誌



(非賣品)

緒言

北桑田郡ハ古來單ニ桑田郡ト稱セシ一部分ナリシモ明治十一年之ヲ割キテ分設セシモノナリ實ニ京都府下十八郡中最大ナルモノニシテ廣袤殆ト十里ニ瀕リ丹波國ノ東北隅ニ位シ東ハ山城愛宕郡東北ハ近江高島郡ニ界シ北ハ若狹遠敷大飯兩郡西北ハ何鹿郡西ハ船井郡ニ隣リ南ハ南桑田郡東南ハ山城葛野郡ニ境ス郡内山嶽多クシテ耕地僅カニ二千三百餘町ニ過キス到ル處杉檜ノ良材ニ富ミ年々伐出スル處ノ金銀數拾萬圓ノ多キニ達シ郡中物産ノ主位ヲ占ム其他繭煙草薪炭猪鹿等ノ産出亦少カラス人口二萬一千有餘現時ノ教育ハ該令改正以降面目ヲ一新シ大ニ衆人ノ注意ヲ振起シ邊陲ノ村落ト雖昔ク及ハサル所ナキニ至レリ風俗ハ淳朴質良ニシテ頗ル義氣ニ富メルモノ、如シ

○本誌ハ主トシテ郡内ノ人情風俗貧富教育等ノ概況ヲ記述スルニ在リト雖モ編纂倉卒ナルヲ以テ或ハ精察ヲ缺クノ患ナキニアラサルモ請フ幸ニ之ヲ諒セヨ



編者識

一 神社佛閣ハ其沿革ノ確實明瞭ナルモノ、ミテ載ス  
 一 名所舊蹟等ノ記事ハ其緣起ニ依ルト雖亦口碑ノ信スヘキモノハ之ヲ掲ク  
 一 受賞者ノ數ハ枚擧ニ違アラサルヲ以テ一々之ヲ載スルハ其繁ニ堪ヘス故ニ各種中其  
 主ナルモノ、ミテ擧ク  
 一 會社製造所ハ其數少カラスト雖唯其中ニ就キテ大ナルモノ、ミテ掲ク  
 一 物産ハ詳細ニ其調査ヲナシ得難キヲ以テ最モ著明ナルモノ、ミテ掲ク

例 例

- 一 神社佛閣ハ其沿革ノ確實明瞭ナルモノ、ミテ載ス
- 一 名所舊蹟等ノ記事ハ其緣起ニ依ルト雖亦口碑ノ信スヘキモノハ之ヲ掲ク
- 一 受賞者ノ數ハ枚擧ニ違アラサルヲ以テ一々之ヲ載スルハ其繁ニ堪ヘス故ニ各種中其主ナルモノ、ミテ擧ク
- 一 會社製造所ハ其數少カラスト雖唯其中ニ就キテ大ナルモノ、ミテ掲ク
- 一 物産ハ詳細ニ其調査ヲナシ得難キヲ以テ最モ著明ナルモノ、ミテ掲ク

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、  
二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、  
三十一、  
三十二、  
三十三、  
三十四、  
三十五、  
三十六、  
三十七、  
三十八、  
三十九、  
四十、  
四十一、  
四十二、  
四十三、  
四十四、  
四十五、  
四十六、  
四十七、  
四十八、  
四十九、  
五十、  
五十一、  
五十二、  
五十三、  
五十四、  
五十五、  
五十六、  
五十七、  
五十八、  
五十九、  
六十、  
六十一、  
六十二、  
六十三、  
六十四、  
六十五、  
六十六、  
六十七、  
六十八、  
六十九、  
七十、  
七十一、  
七十二、  
七十三、  
七十四、  
七十五、  
七十六、  
七十七、  
七十八、  
七十九、  
八十、  
八十一、  
八十二、  
八十三、  
八十四、  
八十五、  
八十六、  
八十七、  
八十八、  
八十九、  
九十、  
九十一、  
九十二、  
九十三、  
九十四、  
九十五、  
九十六、  
九十七、  
九十八、  
九十九、  
一百、

### 目次

神社

佛閣 附タリ、聖物

名所舊蹟 附タリ、天然ノ奇觀  
人為ノ奇觀

受賞者

會社及製造所

諸官衙

北桑田郡略史附録

各村物産價額一覽表

高倉帝ノ時權大納言藤原  
 成親ノ子右少將成經ノ領地ナリ然ルニ治承元年右少將成經平判官康賴法勝寺執行俊寛  
 等ト共ニ鬼界ヶ島ニ流竄セラル、ヤ成經島地ニ在リテ朝夕伊勢而大神宮ニ祈願シ幾許  
 モナク村ニ歸ルヲ得タリ此ニ於テ成經而大神宮ノ宮殿ヲ長野村ニ創建ス然レトモ年ヲ  
 經ルコト久キニ及ンテ皆荒敗セリ後慶長年間河合伊兵衛尉(現存河合島次郎ノ先代)之  
 ナ慨キ更ニ再建スト即チ今存スルモノ是ナリ

◎神社

○太神宮ハ細野村ノ一部ナル元長野村ニアリ傳ヘ云フ此地ハ高倉帝ノ時權大納言藤原  
 成親ノ子右少將成經ノ領地ナリ然ルニ治承元年右少將成經平判官康賴法勝寺執行俊寛  
 等ト共ニ鬼界ヶ島ニ流竄セラル、ヤ成經島地ニ在リテ朝夕伊勢而大神宮ニ祈願シ幾許  
 モナク村ニ歸ルヲ得タリ此ニ於テ成經而大神宮ノ宮殿ヲ長野村ニ創建ス然レトモ年ヲ  
 經ルコト久キニ及ンテ皆荒敗セリ後慶長年間河合伊兵衛尉(現存河合島次郎ノ先代)之  
 ナ慨キ更ニ再建スト即チ今存スルモノ是ナリ

○一ノ宮神社ハ山國村ニアリ稱徳天皇ノ御宇寶龜年中之ヲ創立シ和氣滿麻呂祭主タリ  
 三條天皇長和五年八月社位ヲ正一位トシテ(此時四社ヲ建立ス即チ春日社加茂社)御祈願所トナ  
 シ祭田ヲ賜フ源平ノ亂ニ破却シ四條ノ院天福元年勅願ニヨリテ五社ヲ再建シ神領ヲ賜  
 フ(百二十石)後醍醐天皇元弘ノ亂ニ復散亂ス後小松天皇應永六年八月舊ニ復スルノ給  
 旨并ニ將軍義滿ヨリ重畫ノ徽號ヲ賜フ後正親町天皇天正七年又々明智光秀ノ亂ニ破却  
 ス降リテ慶長五年三月再建シ全十八年破風作り檜皮葺ニ改築ス今ノ社殿即チ是ナリ  
(柱時ハ丸木作り茅葺ニシテ  
 主基殿ニ倣ヒ建築シタリ)

○大原神社ハ大野村字楳原ニアリ孝徳天皇ノ御宇創建シタル社ニシテ丹波六社ノ一ナ  
(柱時ハ丸木作り茅葺ニシテ  
 主基殿ニ倣ヒ建築シタリ)

リ本社ノ一ノ鳥居ト稱スル所ニ樞ノ大樹二本アリ其周圍各一丈數尺高サ三丈餘本村ノ名ハ即チ此神木ニ基ク然レトモ中古誤リテ樞ニ作ル文徳天皇仁壽二年天田郡河合郷ヘ分社シ又京都後小路(本社ノ分社トテ京ノ羽二重ノ宮ニ見ユ)及天田郡堀村ニ祀レルモ亦同シ

◎佛閣

○藏春庵ハ細野村ニアリテ禪宗臨濟派南禪寺末ナリ光嚴院法皇紀州高野熊野ヲ御願回アリ次テ丹波路ヘ御幸セラルヤ途次嵯峨野邊ヨリ細川村住人佐治資友ナル者奉供ス法皇松尾峠中途ニ於テ御足惱マセ賜ヘリ僭順覺資友ニ向テ奉負スヘキコトヲ命ス謹テ之ヲ負ヒ奉リテ攀チ頂上ノ芝生ニテ御休憩在セラレ資友ニ向テ誰何セラル資友謹テ實ヲ以テ答フ汝自今此峠ヲ名稱松尾ヲ以テ姓トスヘシト資友有難キ仰テ畏キ奉リ又奉供シ細川ヘ至レハ法皇其家ニ蹕ヲ駐メサセ賜フ即チ今ノ松尾喜平次ノ祖ナリ(以上舊記ニ)暫クニシテ法皇細川郷下村ニ渡ラセ賜ヒテ畠山治郎兵衛(今ノ畠山源ノ祖)ノ家ニ蹕ヲ駐メシト宣ヒケル治郎兵衛拜伏シテ申上奉ルハ矮屋尊體ヲ御駐メ申スコト最ト畏レ多シト依リテ法皇此家ニ福田庵ノ號ヲ下シ賜ヒテ終ニ御駐リアリ後地ヲ此處ニ相シテ藏春庵ヲ建立シ之レニ住ハセ賜ヒ數年ヲ經テ山國村常照寺ヘ移ラセ賜フト口碑ニ傳フ

○正法寺ハ細野村ニアリテ禪宗臨濟派妙心寺末ナリ當寺ハ織田信長ノ伯父因果居士ノ

創立ニシテ安永年間再建セシモノナリト口碑ニ傳ヘリ

○常照寺ハ山國村ニアリ禪宗臨濟派ナリ當大雄山常照寺開基無範禪師大和尚トハ光嚴天皇御法體後ノ後號ニシテ佛ヲ信仰シ給フヲ篤キ僧道覺一人ヲ隨ヘ親ラ山河ヲ御跋涉遊ハサレ數年ノ後始メテ地ヲ此處ニ相シテ塔塔落成スルニ及シテ當地方三百六十石ヲ領シ衆庶ヲ御教化遊ハサレシカ寶治三年七月崩シ玉フ主上及ヒ梶井宮承胤親王等臨御ノ上御葬典執行セシメ堂後ノ陵ニ葬ル故ヲ以テ御宸翰並ニ諸國御行脚中ノ御持具或ハ御常衣袈裟等今尙存セリ御遺詔ニ隨ヒ有徳ナル南禪寺長老清溪和尚法系ヲ嗣ク是レ即チ當寺ノ第二世ナリ其後ヲ後花園天皇嘗開山法皇ノ御高風ヲ御追慕アラセラレ御遺詔ニ因テ崩御ノ後當山ノ陵ニ葬ル時ニ後主御門天皇先帝ノ御前堂料トシテ小鹽村百二十石ヲ御下附セラレ明應九年後主御門天皇モ亦遺勅ニ依リ御骨ヲ分チ開山堂ニ安置ス天正十年明智光秀ノ爲メニ寺領洪鐘用器ノ類ハ悉ク劫掠セラレ殿堂モ亦燒毀セラレ故ニ衆僧ハ四方ニ分散逃竄セテ殆ント廢絶セントシタレトモ唯當山第八世雲室和尚ハ獨リ宸翰書類及法皇行脚ノ御具袈裟其他黃金四十三體ノ御願佛等ヲ懷抱シテ御塔ヲ守リタルヲ以テ幸ニ永ク傳ハレテ得ルニ後陽成天皇ノ御宗當寺ヲ執奏萬里小路大納言光房ヲ以テ朝廷ニ上奏シ乃チ天皇徳川慶忠ニ勅シテ殿堂ヲ再建セシメテ又徳川氏ノ井戸村ノ内五十石ヲ寄附セテ又爾來朝廷ニ御堂守ノ修理料ヲ賜ハリ又開山法皇並ニ後花園天

皇の御年忌ニ密朝廷及親王等ヨリ金銀ヲ賜ハシテ例儀ナリシ孝明天皇ノ御世ニ至リ  
 戶田夫和定奉勅シテ山陵ヲ修築セシメタル以テ從來開山堂ニ安置セル後土御門天皇ノ御  
 骨ヲ山陵ニ葬リ慶應三年三月寺格ヲ進メテ特賜紫衣ヲシテ南禪寺第一ノ上刹ニ相並ヘ住  
 職ヲ授ケテ開山ノ法系ヲ承クル御給旨ヲ賜テ御骨ヲ移葬スル御法事料トシテ御銀下賜  
 一 後土御門帝ヨリ後花園帝ノ御祠堂料トシテ小鹽村地高百二十石御寄附  
 一 慶長六年御供養料トシテ地高五十石御寄附  
 一 元治三年四月後土御門帝ノ御骨御陵ヘ移葬ノ節御法事料トシテ御銀下賜  
 一 慶應二年三月山陵普請成功ノ節紫衣地ノ給旨拜領  
 一 明治元年十月辨事役所ニテ御金拜戴  
 一 明治十年三月宮内省ヨリ御金拜戴  
 一 明治廿年七月内務省ヨリ保存金拜戴  
 右ノ外諸室建物ノ古例ニヨリ御修理料ト下賜セラシメヨト多シ又開山法皇並ニ後花園  
 天皇ノ御年回ニハ御法事料及錦帛等類ヲ賜セラル  
 當寺寶物  
 一 黃金四十三體 御襟掛御守佛 壹 基

一 御傳來佛舍利小塔 壹 基  
 一 開山法皇御隨身御持具等 法衣履等 計廿七點 天 壹 基  
 一 全 御宸筆中門額 壹 軸  
 一 全 御詠宸翰 壹 軸  
 一 後伏見帝御宸翰 壹 軸  
 一 後光嚴帝御宸翰 壹 軸  
 一 後花園帝御宸翰 壹 軸  
 一 全 御詠宸翰 壹 軸  
 一 全 御壽像 壹 軸  
 一 後土御門帝御詠宸翰 壹 軸  
 一 後櫻町帝御宸翰 壹 軸  
 一 後水尾帝御宸翰 壹 軸  
 一 靈元帝御宸翰 壹 軸  
 一 後西院帝御宸翰 壹 軸  
 一 開山法皇親賢御壽像 壹 軸  
 一 全 御壽像 壹 軸

以下軸物圖書局檢認済

- 一 宋無準國師真跡 貳 軸
  - 一 全 壹 軸
  - 一 夢應國師真跡 壹 軸
  - 一 元一山和尚真跡 壹 軸
  - 一 一休和尚真跡 壹 軸
  - 一 明隆禪三聖八齋 壹 軸
  - 一 唐畫十六羅漢畫 拾六 軸
  - 一 全 地藏大士 壹 軸
  - 一 印度畫釋尊淨土法弟子及四天王 壹 軸
  - 一 唐畫赤壁圖 壹 軸
  - 一 渡宋天滿宮御影 壹 軸
  - 一 羅漢定中國 壹 軸
  - 一 牌 塔 計卅五 點
- 福德寺 貞觀初年 禪宗曹洞派永林寺末ナリ和銅四年僧行基ノ開基ニシテ元正天皇號ヲ玉泉山龍德律寺ト賜フ當寺第二世鑑眞(唐僧)時聖觀天皇ノ勅願ニヨリ當寺藥師七寶塔ヲ建立サセ給ヒテ行幸セラル且ツ該僧ニ就キテ菩薩戒ヲ受ケ給ヒ其殊勝

- ナルヲ嘉ミテ全國ニテ所ニ戒壇堂ヲ創立セシメラル(即チ東國ニテハ下野ノ藥師寺中國ニテハ當寺西國ニテハ筑前郡香寺是ナリ)
- 天平勝寶元年孝謙天皇戒壇堂ヲ南都東大寺ニ移サレ大伽藍ノニ保存セシカ降リテ天正年間ニ至リ光秀ノ周山城ヲ築クヤ大伽藍ヲ破毀シテ急築ニ供シタルハ勅願ナル藥師三本尊ハ境外字大谷ニ移シ一小宇ヲ建立シテ之ニ納ム全十二年七月光秀ノ事終リシヲ以テ舊地ニ安置ス爾後大ニ荒廢セシカ天和元年僧神智ナルモノ小伽藍ヲ再興シ寺名ヲ富春庵ト改メ永林寺ト現任居山和尚ヲ請シテ開山トシ同寺ノ末寺ニ附ス明治八年十二月寺號ヲ復稱シテ福徳護國寺ト云フ
- 最尊寺 八幡ヶ岡村ニアリ明應元年三月ノ創立ニシテ眞宗ナリ昔宇多天皇第八ノ皇子敦實親王ノ後裔源氏信五世ノ孫氏政野々村莊ニ住ス時ニ本願寺第八代ノ法主惠燈大師當地巡錫ノ節教ヲ稟ケ直ニ弟子トナリ遂ニ當寺ヲ建立ス
- 唯然寺 八幡ヶ岡村ニアリ慶長九年十二月ノ創立ニシテ眞宗ナリ當寺ノ開基慶了ハ近江彦根ノ大主伊萬千代ノ庶子ナリト云フ夙ニ佛道ニ志シ東本願寺ニ仕フ慶長ノ初年布教ノ爲メ此地ニ來リ遂ニ當寺ヲ建立ス是レヨリ先當地ニ極樂寺ト稱スル眞言宗ノ大寺アリシカ天正年間今宮城主豊前守光照ノ爲メニ破滅セラレタリ故ニ檀徒ニ改宗ヲ勸メ眞宗ニ歸依セシメタルナリト云フ
- 蓮乘寺 大野村ニアリ天正元年ノ創立ニシテ法華宗ナリ往昔庄主管原野々村姓實相



一 宋無準國師真跡 貳 軸  
 一 全 觀音畫 壹 軸  
 一 夢窓國師真跡 壹 軸  
 一 元一山和尚真跡 壹 軸  
 一 一休和尚真跡 壹 軸  
 一 明隆禪王聖八畫 壹 軸  
 一 繪畫十六羅漢畫 拾六 軸  
 一 全 地藏大士 壹 軸  
 一 印度畫釋尊並十大弟子及四天王 壹 軸  
 一 唐畫赤壁圖 壹 軸  
 一 渡宋天滿宮御影 明人筆 壹 軸  
 一 羅漢定中國畫 壹 軸  
 一 牌 塔 珠 卅五 點  
 ○ 福德寺 月削村 禪宗曹洞派永林寺末ナリ和銅四年僧行基ノ開基ニシテ元正天皇號ヲ玉泉山禪德律寺ト賜フ當寺第二世鑑真(唐僧)時聖觀天皇ノ勅願ニヨリ當寺藥師七寶塔ヲ建立サセ給ヒテ行幸セラル且ツ該僧ニ就キテ菩薩戒ヲ受ケ給ヒ其殊勝

ナルヲ嘉ミシテ全國三ヶ所ニ戒壇堂ヲ創立セシメラル(即チ東國ニテハ下野ノ藥師寺中國ニテハ當寺西國ニテハ筑前觀音寺是ナリ)  
 天平勝寶元年孝謙天皇戒壇堂ヲ南都東大寺ニ移サレ大伽藍ノニ保存セシカ降リテ天正年間ニ至リ光秀ノ周山城ヲ築クヤ大伽藍ヲ破毀シテ急築ニ供メタルハ勅願ナル藥師三本尊ハ境外字大谷ニ移シ一小宇ヲ建立シテ之ニ納ム全十二年七月光秀ノ事終リシヲ以テ舊地ニ安置ス爾後大ニ荒廢セシカ天和元年僧神智ナルモノ小伽藍ヲ再興シ寺名ヲ富春庵ト改メ永林寺ノ現住居山和尚ヲ請シテ開山トシ同寺ノ末寺ニ附ス明治八年十二月寺號ヲ復稱シテ福德護國寺ト云フ  
 ○ 最尊寺 八幡ヶ岡村ニアリ明應元年三月ノ創立ニシテ眞宗ナリ昔宇多天皇第八ノ皇子敦實親王ノ後裔源氏信五世ノ孫氏政野々村莊ニ住ス時ニ本願寺第八代ノ法主惠燈大師當地巡錫ノ節教ヲ傳ケ直ニ弟子トナリ遂ニ當寺ヲ建立ス  
 ○ 唯然寺 八幡ヶ岡村ニアリ慶長九年十二月ノ創立ニシテ眞宗ナリ當寺ノ開基慶了ハ近江彦根ノ大主伊萬千代ノ庶子ナリト云フ夙ニ佛道ニ志シ東本願寺ニ仕フ慶長ノ初年布教ノ爲メ此地ニ來リ遂ニ當寺ヲ建立ス是レヨリ先當地ニ極樂寺ト稱スル眞言宗ノ大寺アリシカ天正年間今宮城主豊前守光照ノ爲メニ破滅セラレタリ故ニ檀徒ニ改宗ヲ勸メ眞宗ニ歸依セシメタルナリト云フ  
 ○ 蓮乘寺 大野村ニアリ天正元年ノ創立ニシテ法華宗ナリ往昔庄主管原野々村姓實相

○入道上洛ノ節妙顯寺十二世日堯聖人ノ教化ヲ蒙リ深ク法華宗ヲ信シ歸國ノ後天正元年  
改宗シテ一字ヲ建立シ秀傳院日孟蓮乘院日整ヲシテ住持セシム故ニ秀傳山蓮乘寺ト號  
シ以テ庄主ノ菩提所トナス

◎名所舊蹟及天然ノ奇觀

○氷室山龍玉山千年山高塚山ハ神吉村ニアリテ眺望何レモ絶佳ナリ其他二ツノ  
礦山アリテ年々多量ノ瀧倫ヲ採掘セリ

○龍ヶ嶽ハ細野村字荻見谷ニアリテ斑紋アル奇巖累々山ヲナシ特立千丈高ク雲際ニ聳  
ヘ唯老松ノ巖頭ニ棲セタルヲ見ルノミ其狀恰モ天柱ノ如シ巖ヲ登テ望テト欲スルモ能  
ハス眞ニ一ノ奇山ト云フヘシ

○瀧又瀧ハ細野村ノ北方瀧又谷ニアリテ高サ五丈餘アリ傳ヘ曰フ其傍ナル山腹ノ石窟  
ハ昔織田信長ノ伯父因栗居士世サ此處ニ避ケ其法ヲ修メシ古蹟ナリト瀧ノ傍ナル樵路  
ヲ登レハ窟ニ至ル窟ハ廣カラスト雖眼ヲ開ケバ溪ノ極ナル處ニシテ一條ノ飛泉山嶺ヨ  
リ懸リ霧鬱タル綠樹ノ中ヲ過キ忽チ其貌ヲ失シ唯遙ニ溪流ノ冷々タルヲ聞クノミ眸ヲ  
他ニ轉スレハ奇巖疊々起伏シテ溪ノ淺キニ向テ窟居腔中ニ攢マルノ象ハ忽チ塵俗ヲ洗  
ヒ人ヲシテ仙境ノ懷アラシム

○宇津村字板本ノ西方ニ廣袤一町餘ノ平野アリ之ヲ辨天芝ト呼フ南ハ山ヲ負ヒ三面  
ハ田野ト相接ス傳ヘ云フ高倉帝ノ時丹波少將藤原成經平ノ康賴僧俊寛等罪アリテ鬼界  
ヶ島ニ流竄セラル成經ノ配所ニアルヤ朝夕安藝ノ國嚴島ニ祭レル辨財天ニ祈願シテ遂  
ニ國ニ歸ルコトヲ得タリ故ニ地ヲ此處ニ相シ祠宇ヲ建ツ後漸ク荒敗ニ屬セシカ明治六  
年ニ至リテ之ヲ改築ス此ノ地ハ舊山城高雄寺ノ領地ナリシ故ニ其舊記今尙高雄寺ニ藏  
セリ

○周山村字周山ノ西北連峰ノ中最モ高キ一峰アリ土人ノ之ヲ城山ト呼フ天正三年明智  
光秀ノ族光春城ヲ此山ニ築キ名ヲ周山城ト命シ是ニ據ル後光秀滅亡シ城亦荒敗ニ屬ス  
是レヨリ城下ナル下繩野村(今ノ周山)ヲ改メテ周山村ト呼ビ城山ト稱モ亦此時ニ始マ  
ルト口碑ニ存ス(周山人村山旁太郎即經藏スル周山圖ニ其城址ノコト顯然タリ)

○周山村字矢代ハ往昔近衛帝ノ時怪鳥アリ毎夜紫宸殿ノ屋上ニ啼ク聲甚タ惡ムヘシ  
帝忌テ病ム源賴政勅命ヲ以テ齋戒沐浴乃チ怪鳥ヲ射テ之ヲ殺ス帝乃チ瘡ニ故ニ功ヲ以  
テ矢ノ代ニ拜領セシ所ナリ因テ此ノ名アリト傳フ今尙ホ此地ニ舊ノ前ノ塚トテ五輪ノ  
石塔アリ(墓ノ前ハ賴政ノ嘗テ養育セル宮女ナリ)

○姑棄野山ハ山國ノ西南隅ニ屹立シ恰モ倒釜形ノ如シ其山腹ニ平坦ナル所アリ足利  
義滿ノ管領細川武藏守賴之ノ閑居セシ所ニシテ後明治元年ヨリ山國隊ノ練兵場トナセ

○天囃山ハ山國村ノ東南疆ニ登ヘ其ノ山脈左右ニ峴々トシテ山城丹波ノ界ヲ盡ル山嶺ハ遙ニ京洛伏水ヲ望ムヘク夏秋ノ候雲霧朦朧トシテ山ノ四面ヲ來住シ或ハ來テ滿山ヲ覆ヒ或ハ散シテ全山ヲ顯ヤシ忽ニシテ白雲一帯山腹ヲ畫シ或ハ雲霧山麓ヲ蒸マテ僅ニ山巔ヲ表シ恰モ渺茫タル洋中遙ニ孤島ヲ望ムノ觀アラシム實ニ變幻出沒其奇觀得テ名狀スヘカラス

○招魂社ハ山國村ノ西藥師山ノ山腹ニアリ森々タル翠松ハ長ヘニ志士ノ二心ナキナ影ヲ艶然タル百花ハ以テ忠魂ヲ慰シ秋山ノ紅葉ハ眞ニ丹心ト相映シ白雪ノ體々タルハ其潔白ヲ表スルノ觀アリテ四時ノ風景得テ掬スヘシ其中央ニ二大碑ヲ建ツ一碑ハ有栖川宮殿下ノ篆額ニシテ文ハ前ノ京都府知事榎村正直ノ記スル處一碑ハ池田從二位公正五位輝知公ノ咏歌ヲ刻シタルモノナリ其他忠節ヲ嘉シ其靈ヲ慰メント欲シ咏進セルモノ少カラス今左ニ其二三ヲ記ス

碑文

從二位 池田慶德  
 大きみの御たてとなりしすらをのしを世々にたつる石ふみ

同

正五位 侯爵 池田輝知撰

明治元年奥羽征討之役丹州山國莊舊族結團從軍號山國隊仰我舊島取藩節度所在力戰有功而其死事者若干人矣當是時堂々藩國或首鼠兩端觀望成敗竟誤順逆者往々有之而山谷之人夙辨勳王大義能致敵愾之力如此其忠烈洵可稱也與羽既平隊衆爲死者築塲招魂歲時祭奠建碑刻家先君所寄題國詩後十三年又念余祭文時祭甚迫不暇構思因倉卒屬四言八句以代之頃者又乞刻之於先君國詩碑陰乃再錄以與焉辭曰  
 土兵團結 皇威擴張 爲我驅虎 當彼豺狼 曝屍原野 白骨亦香 招魂鄉邑 青山有光

明治十八年

山國隊碑文

元老院議官 正四位 勳三等 植村正直撰

丹波山國郷之地山峻壁懸森林蒼鬱相傳桓武天皇志遷都山城海濱之材多取於此遂建山國神之廟置吏講祝山林郷中之民多其木植元弘之役屬官軍出戰後屢歷變故舊記茲伏實歲歲畫而奉一王宮之意未嘗少衰當體變拜歲時朝謁稱山國郷士及王政復古郷士永日市之進藤野等首領結繼勇共誓神廟

號曰山國隊舊請從軍官允之屬鳥取藩兵東征與羽轉戰有功賜祿賞之既歸營等相謀設招魂場以祭陣亡之士各酬賞典祿又募金購田六反八畝山三町六反一畝種以良木三萬株田志所得以充祭費山林之利以備鄉中不虞之用將立石以紀其事請余銘之大凡天下之事靡不有根本山國鄉士忠誠之厚於今者古昔朝廷建祠置吏之事遠為之本也今之買田種樹又所以養根本也其効於後世豈不益大哉銘曰  
王師子孫百世鑑於斯碑

明治十九年歲次丙戌十月建

鳥取縣 河田 景興

世の爲とさぬにし露のたまつりなぬく尾花をてしはれつ、

山口縣 山根 秀介

秋田縣 宮 彦治

京都府 田原 正績

垣城夜半刺鮮血驟起爭先投虎穴誰識山明水碧中精神一片清於雪

京都府 吉田 秀毅

奮袂壯其死百戰喋血終不返掩袂悲其人一死報國魂既遠鄉土今日薦獲鸚魂能歸否暮煙迷綠樹黃梅碑頌雨杜鵑吐血勸歸蹄

抑モ山國郷ハ桓武天皇延曆年中都ヲ平安ニ遷サセ賜フトキ良材及ヒ楡皮等ヲ獻納セシヨリ山林修理料或ハ御杣料トシテ山林私領ヲ賜ハル元弘ノ役官軍ニ屬シ主上ヲ守護シ後天正年中明智光秀ノ暴虐ヲ憤リ繩野坂ニ於テ戰闘スル等古事頗ル多シト雖之ヲ略ス降テ明治戊辰正月山陰道鎮撫使ヨリ募兵ノ檄文ニ接シ山國郷勤王ノ士相謀

リ山國隊ヲ編成シ私財ヲ擲テ之ニ應ス乃チ因州藩ノ兵ニ加ヘラレテ征東シ下野國安塚及宇都宮日光東京上野箱根奥州岩城平等ニ轉戦シ勲勵忠戰ノ賞賜ヲ受ケ大ニ名譽ヲ博シテ招魂社ハ此戰死者ヲ祀ル所ニシテ毎年官ヨリ特ニ奉幣使ヲ遣シテ其祭典ヲ行ハセ賜フ

●黒田村字灰屋谷ニ一飛泉アリ之ヲ灰屋ノ淵ト呼フ此地木材ニ富ミ之ヲ輸出スル

ニハ筏トサシ水辺ヲ借ルト雖斷崖ノ奔流ヲ直下スルノ難キヲ以テ巨木ヲ渡シテ後路ヲ造リ大ニ其便ヲ得テ真ニ奇觀ト云フヘシ  
●弓削村字上弓削ノ北方三十餘町ニシテ溪流ヲ沿マテ數千町ヲ溯レハ斷崖千尋

壑ヲ圍繞シテ幽邃極リナシ一望スレハ瀑布天涯ヨリ懸ルカ如シ是レ即チ馬場瀧ナリ其ノ高サ十四丈巾五尺劃然トシテ巖ニ抛テ碎玉飛散シテ草靡キ山動キ恰モ百雷ノ落ツルカ如ク人ヲシテ轉々凄然タラシム其壯觀本郡中他ニ見サル處ナリ是即チ由良川水源ノ一ナリ

○布瀧ハ弓削村字上弓削ノ北方馬場瀧ノ下流ニアリ高サ五丈餘巾五尺ニシテ綠樹蒼鬱タルノ間奔流絶壁ヨリ降り飛沫烟霧ノ如ク其狀恰モ素練ヲ天空ヨリ垂ルカ似シ是レ其名ノ依テ起ル所以ナリ

○知井村字河内谷小字御所ヶ谷ニ方二間餘ノ洞窟アリ往昔允恭天皇ノ皇子木梨輕故アリテ此地ニ隱遁セラレシ所ナリト口碑ニ傳フ

○知井村ニ八ヶ峯ト稱スル高嶺アリテ重疊タル群峰ヲ凌キ其山嶺ニ至レハ丹波丹後山城近江若狹越前加賀能登ノ八ヶ國ヲ望ムヘシ故ニ此ノ名アリ

○平屋村大字内久保ニ字大内ト謂フ所アリ昔木梨輕皇子故アリ遁レテ丹波ニ入り本郡知井村御所ヶ谷ニ潛マレ後柴磨城ニ移ラセ給フ因テ此地ヲ大内輕野々村ト稱ス皇子ニ一人ノ御子アリ皇子薨セラレノ後祀リテ一ノ宮輕ノ神社ト稱シ數年ノ後輕ノ字ヲ削テ村ヲ野々村ト改ム皇子五世ノ孫ニ野々村左近右近ト呼フ二子アリ時ニ菅公ハ庶子慶能法師行脚シテ此地ニ來リ終ニ還俗シテ其子保城ト結婚シ永ク此地ニ住ス菅公赦免ノ

後慶能法師ノ六子ニ野々村ヲ分テ領セシメ若干年ヲ閱シテ終ニ大内ト改稱セリト傳フ

○鶴ヶ岡村字津向ノ山上ニ今宮城址アリ城主川勝豐前守光照ハ秦川勝ノ後裔ニシテ桑田郡神樂坂以北過半ヲ領ス元龜三年織田信長明智光秀ヲ遣シ何鹿郡君王山光明寺ヲ討セシム光照座主滿山ノ請ヲ納シ此寺ニ加擔セシカ敗北シテ後今宮城ニ籠リ拒守セシト雖城陷リテ終ニ自殺ス

○鶴ヶ岡村法明寺背後ノ山上ニ殿城址アリ川勝豐前守光照ノ遺子丹波守光綱天正ノ末年若狹ヨリ復タ舊領ニ入り川勝ヲ敗メ小山ト號シ城ヲ此ニ築キシ處ナリ光綱ノ子光忠ナルモノニ至リ大坂ノ役豐臣氏ニ屬セシカ滅亡ノ後舊領ニ歸リ民間ニ下リテ先祀ヲ存ス其後胤ニ忠次ナルモノアリ嘗テ武ヲ以テ聞ユ時ニ盛郷ノ鎗堅ニ大蛇アリ屢人ヲ害ス忠次驟然トシテ民ノ患ヲ除カント欲シ遂ニ巨蛇ヲ蛇ヶ谷ニ殺ス其家ノ系譜及武器ハ今尚ホ鶴ヶ岡村字殿ノ川勝喜平次ノ家ニ秘藏セリト云フ

○鶴ヶ岡村ニ頭巾山洞ヶ嶽天狗畑ノ三山屹立シテ鼎足ヲオセリ就中頭巾山最高クシテ若州沿海ヲ望ムヘシ

○棚野嶽ハ鶴ヶ岡村大字盛郷ノ北端ニ横ハル峻嶺ニシテ若狹ニ通スルノ坂路ナリ頗ル險ニシテ行旅甚タ惱ム絶頂ハ遠ク北海ヲ望クベシ

○明神ヶ瀧ハ鶴ヶ岡村豐郷洞ヶ嶽ノ山腹ニ在リ突怪巖ノ間ヲ奔下ス四隣松杉蒼鬱ト

○カ微ニ日光ヲ漏ラシ幽暗ニシテ暑ヲ避クホニ宜シ  
 ○宮島村ノ城山及ヒ和田山ハ皆秦川勝ノ築城セシ處ニシテ其城址今猶存在セリ  
 ○長老山ハ大野村ノ西北隅ニアリテ船井郡ニ跨リ重複タル峰巒ノ間獨リ巍々トシテ雲際ニ屹立シ山巔ヨリ遙ニ北海ヲ望メハ渺茫千里水天相接シ東ハ加賀ノ白山ヨリ若狹一帯ノ海山眸中ニ攢リ西ハ丹後ノ沿海ヲ望ムヘク又秋風起テ楓葉丹ヲ吐キ滿山恰モ錦繡ヲ布クカ如ク其風景實ニ絶佳ナリ

○大野村ノ西端ニ井壘ヲ稱スル處アリ其上流ハ僅ニ斷崖絶壁ノ間ヲ流シ磊落タル巨巖ハ流ヲ遮リ激浪懸リテ瀑狀トナリ跳擲マ下テ潭底ヲ衝キ深淵ヲナス其聲轟然山嶽ニ響キ行人ハサシテ悽然ゾラシム

○大堰川ハ源ヲ黒田村字廣河原ノ幽谷ヨリ發シ颯々山國周山宇都ノ諸村ヲ過キ船井郡殿田村ニ至ル其間危巖怪石龍蟠虎踞急流激湍一タヒ過テハ身ヲ水底ニ碎クヘキモ筏夫一棹其危險ヲ脱シ一椀去テ一筏之ニ續キ去來間絶無カラスムル如キ其ノ壯觀古ヨリ文人墨客ノ深愛スル所ナリ

○大野川ハ知井村ノ深山ヨリ發シ平屋ヲ過キ靜原村ニ至リ鑿ケ岡村ノ支流ト合シ大野村ヲ過シ何鹿郡ニ入ル由良川ノ上流即チ是ナリ大堰川ニ比スレハ較ヤ大ニシテ巖岩瘦石ノ奇觀ニ富ミ就中大野村井壘ノ如キハ全流中壯觀ノ泰斗トス本川舟筏ノ利ナシト雖

現時之ヲ開通ノ業ヲ起セリ竣功後ニ至レバ則チ其風致利用亦以テ想フヘシ  
 ○山國村大雄山常照寺ハ光嚴帝遺世離俗ノ地タルナリ相シ山ヲ開キテ巨剎ヲ創立ス今チ距ルコト五百三十有三年ナリ字大野ノ北ニ在リ高潔幽雅近畿稀ニ見ル絶勝ノ地也大堰川ヲ渡リ三四丁許ニシテ下馬門アリ坂路直行數百歩ノ間古松盤桓左右ニ駢列シ畫尙暝シ石階數十歩ヲ上レハ下乘臺有リ僅ニシテ開山法皇ノ勅額門ニ達ス法皇遺蹟 仰之彌高 其右隣ニ一ノ草庵アリ閑雅清淨ニシテ茗饌ノ室トス前庭飄狀ノ池アリ植ルニ香荷ヲ以ス池ノ陁隘ナル所ニ欄橋ヲ架シ猿歸橋ト曰フ之ヲ渡リ右スレハ舍利殿ニ通シ阪路ヲ攀レハ穆々タル林頭木柵ヲ圍繞シ儼トシテ相對スル者即チ光嚴帝後花園帝ノ山陵也左スレハ勅使門ヲ過キ本堂ニ達ス屹然タル巨剎樹梢ニ聳ヘ香煙橋ヲ繞ル轉シテ堂後ノ白玉泉ニ至レハ池水混々風栖軒ハ宛トシテ水ノ中央ニ在リ其源ハ照應鎮ノ側ヨリ發シ懸リテ一小瀑布トナリ廊ヲ渡リ碧巖室ニ至ル滿庭綠樹芳草ノ間巖巖蒼布シテ虎彪ノ如ク蛟龍ノ如ク或ハ跳リ或ハ蟠リ或ハ崩レントシ倒レントシ飛ハントシ欲マ眠ント欲ス千狀萬態自ラ奇ナラサルハナシ林間萬樹ヲ凌キ卓然トシテ高々秀ツル者ハ法皇自植ノ楨ナリ其ノ側石欄中ニ在ルヲ法皇ノ座禪石ト曰マ群山江ヲ隔テハ晴嵐起リ縹ノ尤モ秀タルヲ高月懸ト曰フ明月殿嶺ヲ離シ山閣ニ入りテ法燈ヲ掠メ山麓ノ江流激湍ニシテ波々可ラサル所チ不能渡ト曰ヒ金龍條ヲ跳リテ金華進下流水波漸ク穩ナル所チ慈航湍ト曰ヒ鼻

々タル楊柳ハ緑鬚ヲ梳ルカ如シ背後ヲ擁シテ衆嶽ノ領袖タル者ハ猿歸嶂ナリ老松鬱々  
積翠空ニ浮ヒ山勢左右ニ走リ廻々數里ニ亘ル夫レ四時ノ狀タルヤ梅林春ヲ報シテ鶯語  
滑ナリ櫻花濺亂トシテ群蝶愁フ荷風香ヲ含シテ枕簟冷ナリ雲霓雨ヲ捲テ山色流レ鯨鐘  
客ヲ促シテ暮煙散シ松間月穩ニシテ白露浮ヒ古松雪ヲ蹴シテ寒鳥愕キ孤猿路ニ迷フテ  
悲聲幽ナリ是レ其ノ真景ニシテ拘スベキナリ眼ヲ南ニ轉スレハ天涯渺茫トシテ數里ノ  
山波峻々増々雲鬢煙鬢微笑シテ客ヲ迎フル者ノ如ク盡ク寸眸ノ中ニ聚ル此ノ境ニ遊フ  
者ハ雅トナク俗トナク忽焉トシテ塵慮ヲ消遣シ怡然トシテ登仙スルノ思ヒアラシム誰  
カ開山法皇ノ寺宇創立ノ遺蹟ヲ贊嘆セサランヤ

(舍利殿 照應殿 碧巖室 風栖軒 座禪石)  
白玉泉 下乘殿 猿歸嶂 不能渡 慈航橋)  
是即法皇御名ノ十景ナリ

文人墨客ノ吟咏數千首ヲ藏ス其ノ内二三ヲ左ニ掲ク

北朝古寺有山阿路入翠微門薛蘿一院晚來人語少高僧誦貝多羅

神 山 風 陽  
川 田 剛

着得袈裟換袈衣一朝頓悟是禪機聖容千載儼如在長鎮山門發法輝

雲 濤 孟

五百とせのむかしをなほもみはひてあふけは高き御寺なりけり

◎受賞者

神吉村 谷口重兵衛  
同 村 橋本九左衛門

明治十二年六月同村小學校學資金トシテ各金百圓ヲ寄附シタルヲ以テ京都府ヨリ銀盃壹  
個宛拜受ス

神吉村 淺井發五郎

教育上勤勞抄カラサルニ付明治十六年文部省ヨリ四等賞トシテ康熙字典壹部硯箱壹個  
拜受ス

周山村 湯口林之助

明治十七年同村小學校學資金トシテ金百七拾五圓寄附セシニ付京都府ヨリ木盃壹組拜  
受ス

周山村 川面文之進

同 村 川海萬次郎

同 村 村山要藏

同 村 茶谷平太郎

明治十七年同村小學校へ何レモ金百圓寄附セシニ付京都府ヨリ木盃壹組宛拜受ス

周山村 羽田喜兵衛

大堰川ノ支流清瀧川ノ上流五里許ノ筏路開通セシニ付明治九年三月京都府ヨリ其賞トシテ銀盃壹個拜受ス

山國村 辻啓太郎

慶應四年野州安塚戰爭ノ節軍勢ヲ勵マシ手宛ヲ負ヒタルヲ以テ同年四月大總督有栖川宮ヨリ保養料トシテ金五百疋拜受ス

山國村 藤野齋

辭令寫  
山國隊取締 藤野近江  
一金五拾兩也

右者其隊中去ル廿二日野州安塚戰爭ノ節斥候ヲ爲シ衆ニ拔テ屬軍忠打死手負等有之候段神妙之至ニ候依之爲御褒賞不取敢書面之通被下之候事

戊辰五月廿五日

山國村 藤野齋  
同村 辻啓太郎

明治二年二月戊辰戰功ノ賞典トシテ毎年米六俵宛拜受ス

附右兩名ノ外同上賞典祿ヲ受ケシモノ數十名

山國村 田中儀右衛門

同村 田中善兵衛

右兩人平素心懸宜シク農事勉勵ニ付明治元年正月久美濱縣ヨリ金貳百疋宛拜受ス

山國村 木庭新助

授紫勳ノ藤ヲ以テ明治九年一月京都府ヨリ書籍料トシテ金員拜受ス

山國村 河原林ス

京都女學校在學中同校 天覽ノ節優等ノ賞トシテ明治十年二月 日本外史堂部 輿地誌

略初編 日本地理小誌堂部 拜受ス

山國村 河原林ス

京都女學校へ 皇后宮御臨校ノ節優等ノ賞トシテ明治十年二月 康熙字典堂部拜受ス

山國村 藤野齋

同村 岡本準太

同村 草木左内

同村 河原林完吾

明治十四年一月同村小學校資金トシテ各金百圓ヲ寄附シタルヲ以テ京都府ヨリ銀盃壹



個宛拜受ス

山國村 田中 儀右衛門

明治十年三月京都府ヨリ左ノ通賞ヲ受ク

其方事平素寡欲ニシテ遜讓ノ志厚ク日夜農事ニ出精致シ薄身ナカラモ深切ニ他人ヲ世話致シ且實弟淺太郎ナル者戊辰ノ役野州安塚ニ於テ戰死ヲ遂ケ候ニ付賞典祿並ニ祭祀料等年々賜ハリ候處手摩々追祭致候等心得方宜敷ニ依リ既ニ明治元年舊久美濱縣ヨリ賞與ヲ受ケ候事モ有之所其後一層家業ヲ勵ミ固ク志行ヲ守リ一家睦敷相暮シ候段近隣ノ者感賞候趣相聞ヘ奇特之事ニ候依テ其賞トシテ金壹圓下賜候事

山國村 田原 正 績

同村小學校創立以來勤緞屬精ニ付其賞トシテ明治十二年一月京都府ヨリ月給三分ノ一拜受ス

山國村 田原 正 績

教育上勤勞勤ナカラサルニ付明治十六年十一月文部省ヨリ三等賞トシテ康熙字典壹部硯箱壹個 拜受ス

弓削村 四 辻 文 藏

第四師團現役中西南ノ役ニ戰功アリテ勳八等ニ叙セラル

資本金 金型高田 弓削村 牧 磯 五 郎

同村小學校建築ニ付金百圓寄附セシテ以テ明治九年八月京都府ヨリ銀盃壹個下賜セラ

弓削村 牧 磯 五 郎

同上ニ付金五百八拾九圓九拾三錢寄附セシテ以テ明治十四年十二月京都府ヨリ銀盃壹個下賜セラル

弓削村 古 家 傳 吉

性質温良謹慎ニシテ曾テ學生タルヨリハ能ク學業ヲ勵ミ弟妹ヲ愛スルヲ深ク殊ニ繼母ニ事ユテ孝行至ラサルナキ廉ヲ以テ明治十六年十二月文部省ヨリ孝經壹部拜受ス

弓削村 新 江 清 吉

博習小學校在學中一里半餘ノ所ヨリ一日ソ欠席モナク通學勉勵セルヲ以テ文部省ヨリ論語壹部拜受ス

知井村 高野 吉 之 助

第四師團現役中西南ノ役ニ戰功アルヲ以テ勳八等ニ叙シ年金四拾七圓ヲ賜フ

宮島村 北 川 梅 吉

幼年ニシテ祖母及母ノ命ニ從ヒ能ク家事ニ勉勵シ且弟妹ヲ愛育スル等奇特ニ付其賞ト

明治廿四年十二月京都府ヨリ金壹圓五拾錢拜受ス

宮島村 北川梅吉 母ハル

母ニ孝養ヲ盡シ且夫死亡後ハ能ク貞操ヲ守リ小兒ヲ撫育スル等奇特ニ付其賞トシテ明治廿四年十二月京都府ヨリ金壹圓五拾錢拜受ス

備考

細野村 瀧口 景 孝

瀧口三郎景孝

現時同村在住河合京次郎ノ叔父

ハ性專ク武道ヲ好ミ一刀流小野派石山權兵衛ノ門ニ入り

勉メテ擊劍ヲ學ヒ諸國ヲ遍歴シ諸藩ノ練武所ニ到リ大ニ其技ヲ研ク明治戊辰ノ役起ルヤ夙ニ勤王ノ志ヲ抱キ率先ノ京師ニ到リ東山道先鋒總督府御馬廻役拜命シ小旗二統ヲ賜フ慶應二年八月岩倉具視公ヨリ勉勵盡力ノ賞狀ヲ賜フ明治三年三月岩倉具視公ノ近習トナル明治三年九月病ヲ得東京ニ於テ死ス其書類物品今猶河合京次郎方ニ所持ス

### ◎會社及製造所

○株式會社北桑銀行

所在地 山國村字比賀江

創立年月 明治十八年一月

資本金 金四萬圓

純益金 五一七九<sup>月</sup>六四

株主 七十一名

株數 百二十株

役員 頭取 河原林義雄

備考 當會社ハ山城國葛野郡嵯峨村ニ支店ヲ周山村字周山ニ出張所ヲ設ク

○株式會社周山銀行

所在地 周山村字周山

創立年月 明治廿七年七月

資本金 金三萬圓

株主 五十八名

株數 六十株

役員 頭取 勝山伸四郎

○製絲場

所在地 弓削村字上弓削

創立年月 明治二十年七月

所有主 弓削村 稻波益太郎

職工人員 男三名 女四名

一ヶ年製造高 百八十貫目 其價格金壹萬貳千六百圓  
備考 當製絲場ハ本年二月ヨリ蒸氣機械ヲ使用ス

◎ 諸官衙

北桑田郡役所

周山村字周山

周山警察署

同上

同 宮島分署

宮島村字靜原

周山收稅署

周山村字周山

園部裁判所出張所

同上

周山郵便局

同上

黒田郵便局

黒田村字宮

靜原郵便局

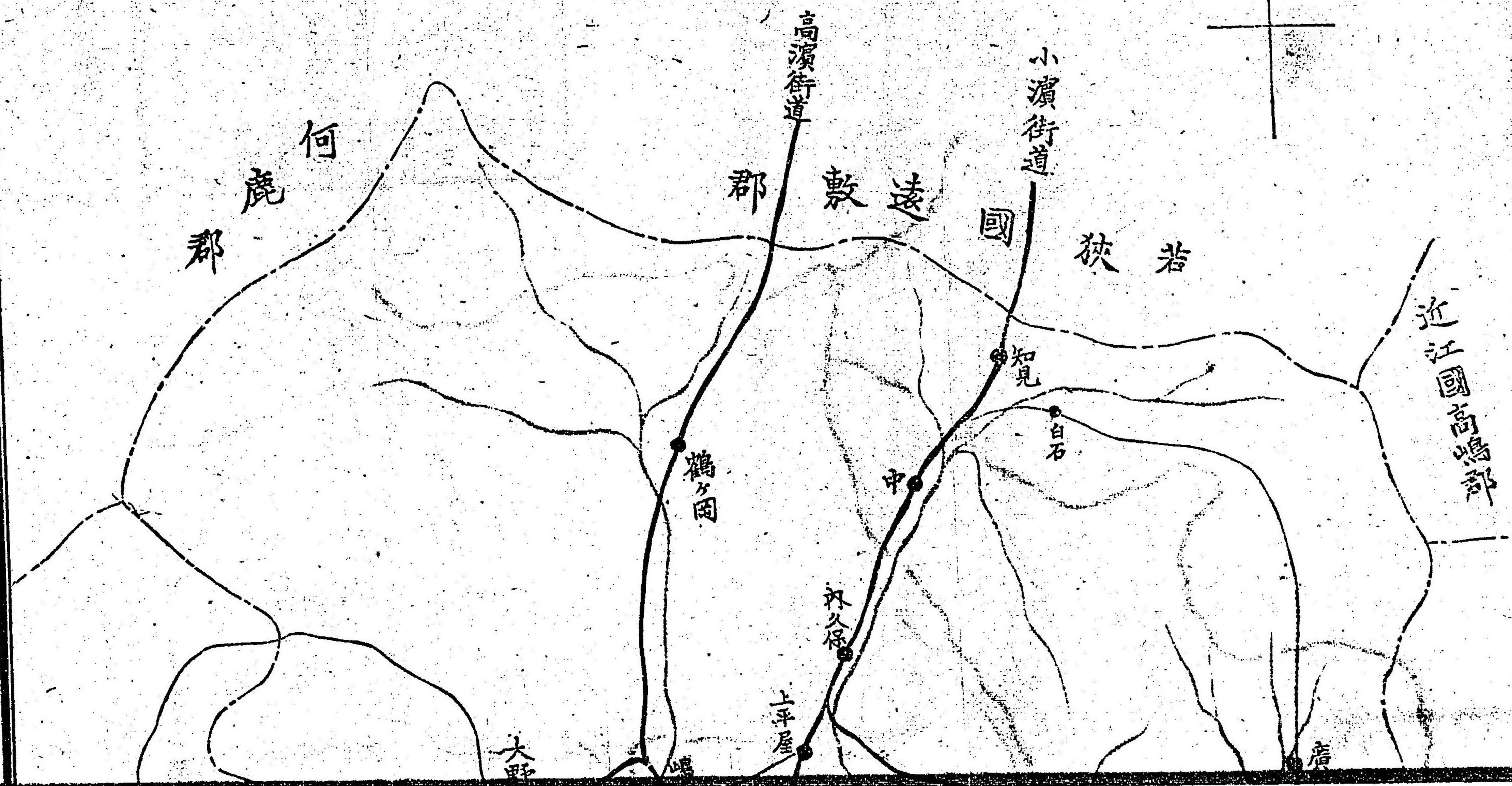
宮島村字宮ノ脇

鶴ヶ岡郵便局

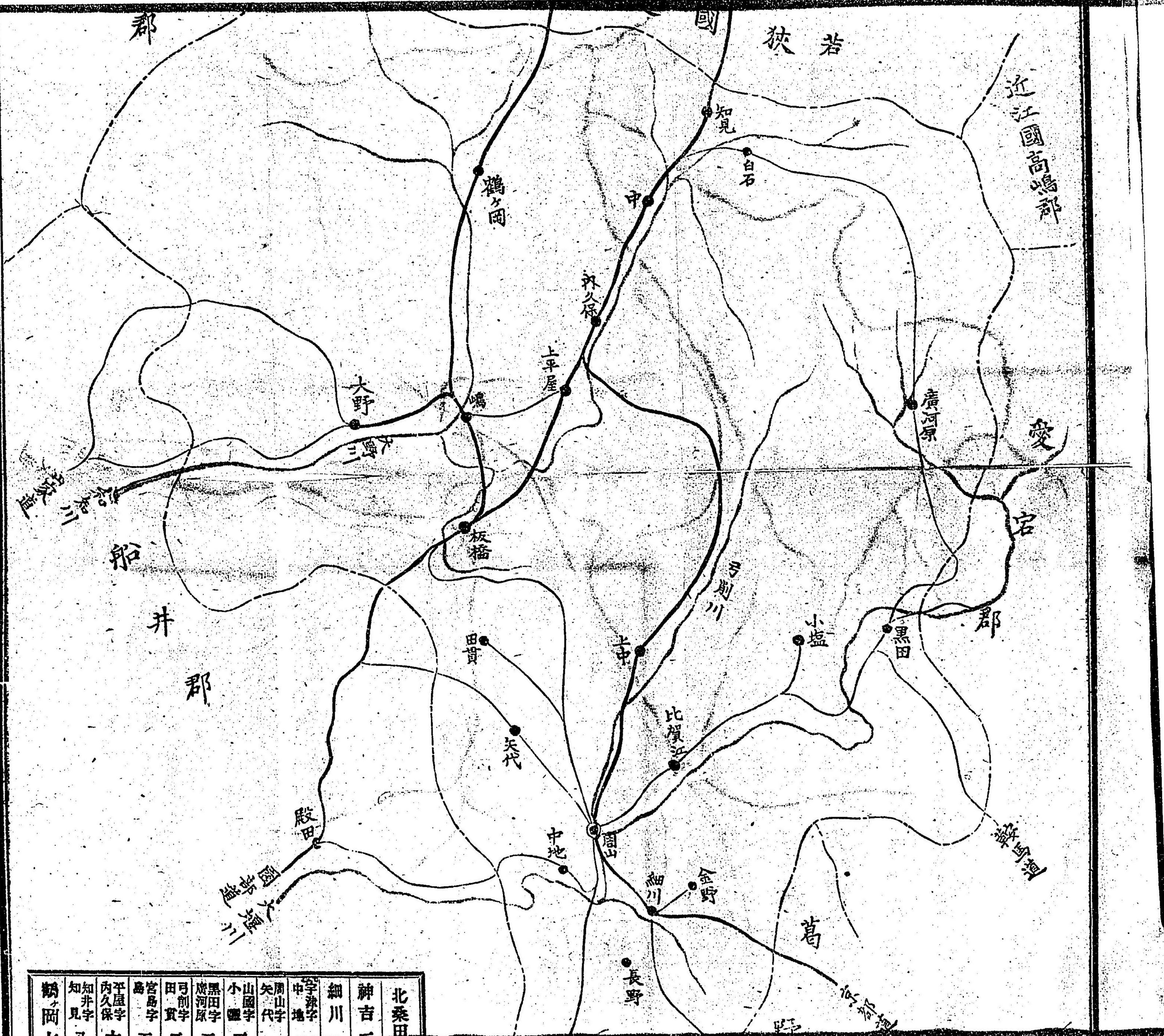
鶴ヶ岡村

北桑田郡誌終

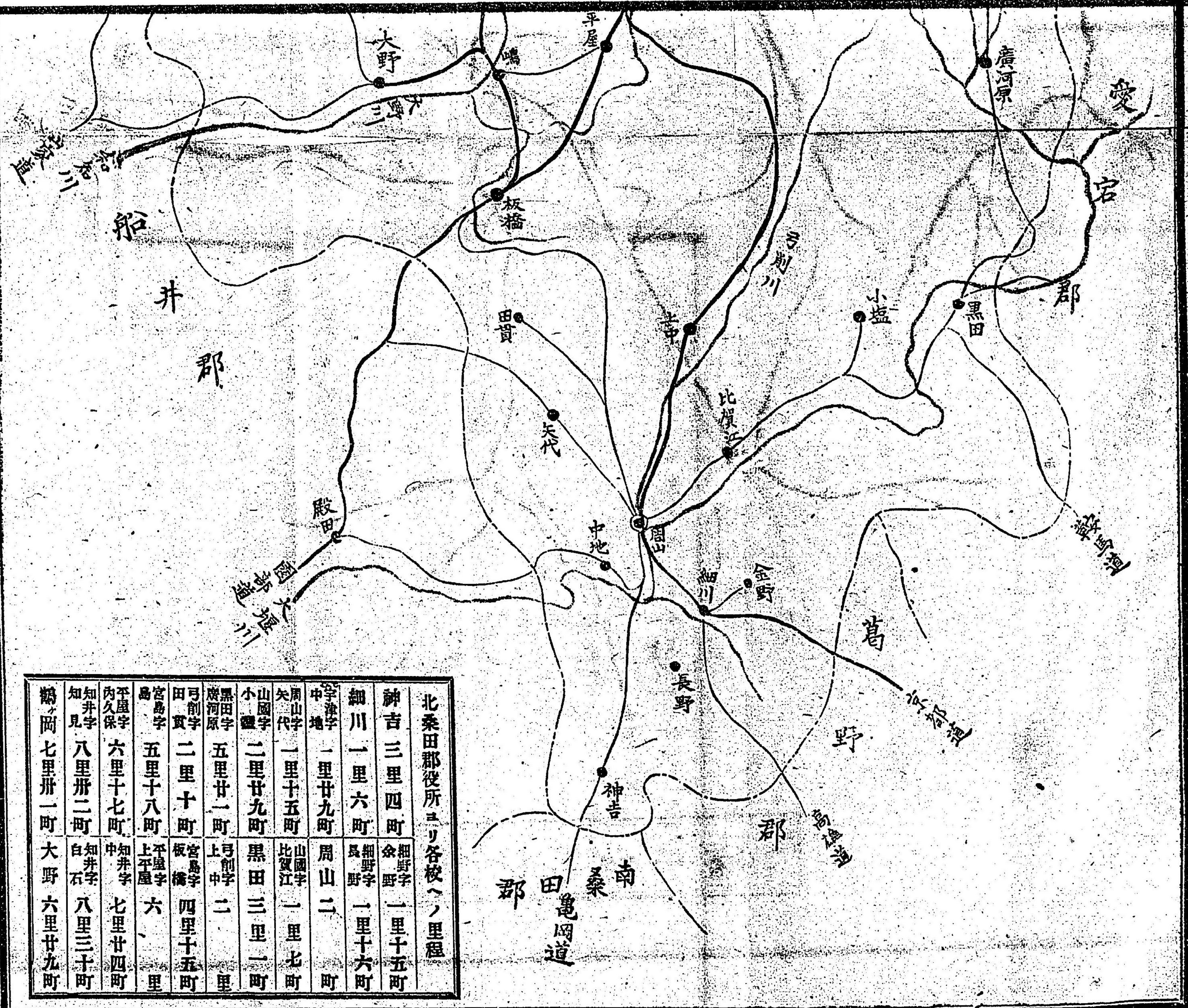
北桑田郡案内圖



○學校所在村名ノミヲ記ス



北桑田	神吉	細川	中地	周山	矢代	山國	小田	黒田	廣河	司河	田實	宮島	平屋	内久保	知井	知見	鶴ヶ岡
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	-----



北桑田郡役所ヨリ各校へノ里程

神吉	三里四町	細野	余野	一里十五町
細川	一里六町	長野	桑田	一里十六町
中地	一里廿九町	周山	二	町
周山	一里十五町	山國	比賀江	一里七町
矢代	二里廿九町	黒田	三	里一町
山國	二里廿九町	弓削	上	中
黒田	五里廿一町	上	中	二
廣河原	五里廿一町	板橋	四	里十五町
弓削	二里十町	宮島	四	里十五町
田貫	二里十町	平屋	六	里
宮島	五里十八町	上平屋	六	里
平屋	六里十七町	知井	七	里廿四町
内久保	六里十七町	知井	七	里廿四町
知井	八里卅二町	白石	八	里三十町
知井	八里卅二町	白石	八	里三十町
鶴岡	七里卅一町	大野	六	里廿九町

周山村外十ヶ村  
組合  
高等小學校

史 附 録							北 桑 田 郡 略							
平 均	合 計	大 野 村	宮 島 村	鶴 ヶ 岡 村	平 屋 村	知 井 村	弓 削 村	黒 田 村	山 國 村	周 山 村	宇 都 村	細 野 村	神 吉 村	村 別 種 別
一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	校小多尋 級學級常
三二		一六	五五	三八	二七	六六	九七	八八	五五		一六		四月四年	創立年月
		〇	一	〇	一	二	一	一	一	一	〇	二	〇	校小尋尋 級學級常
		〇		〇	三六	六六	五八	八八	三七	三三	〇	一〇月八年	〇	創立年月
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	補習科







○宮島村ノ内板校ノ分ニ表共ニ故アリ

價 額 一 覽 表								各 村 物 産					
合 計	大 野 村	宮 島 村	鶴 夕 岡 村	平 屋 村	知 井 村	弓 削 村	黒 田 村	山 國 村	周 山 村	宇 津 村	細 野 村	神 吉 村	村 別 種 別
二七,一九四三	二,五七九五	二,七三六四	二,五三三三	二,一〇〇〇	一,六〇二五	五,一八七一	六,七二七	三,九四八〇	三,二七六〇	一〇,九二一〇	二,二二六	二,〇三三	穀 類
一〇,七五五七	二,一七〇〇	〇	二,二七〇	一,六六〇〇	一,九一〇	一,〇〇五	一,三三〇五	五,〇〇〇	五五〇	六〇六〇	二,六六〇	二,五二〇	木 材
二,五六六二	一〇〇〇	三〇〇	四四〇	一,二〇〇	五〇〇	一,一〇〇〇	五,九七一	二,一五〇	〇	〇	二,五二〇	一六〇	炭

種別	穀類	木材	炭	煙草	麻	苧	生絲	繭	茶	猪鹿	鮎	雜
村	10,011.00	11,510.00	1,200.00	2,200.00	0.00	0.00	0.00	1,210.00	0.00	0.00	1,100.00	雜類
村	11,212.00	2,200.00	11,500.00	5,500.00	0.00	0.00	0.00	5,000.00	0.00	1,100.00	0.00	果
村	1,000.00	6,000.00	0.00	1,100.00	0.00	0.00	0.00	1,000.00	0.00	2,100.00	1,000.00	果
村	3,216.00	5,500.00	0.00	2,111.00	0.00	0.00	0.00	2,100.00	0.00	2,100.00	0.00	杉
村	3,216.00	3,000.00	11,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,000.00	0.00	1,000.00	0.00	魚
村	6,217.00	1,110.00	5,211.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,200.00	0.00	魚
村	11,121.00	1,000.00	1,100.00	5,500.00	100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	0.00	5,500.00	0.00	松
村	1,200.00	1,210.00	5,110.00	0.00	1,500.00	3,110.00	3,110.00	1,000.00	0.00	100.00	50.00	雜類
村	1,100.00	1,200.00	1,200.00	0.00	2,000.00	5,210.00	5,210.00	2,100.00	2,100.00	5,000.00	1,100.00	雜類
岡村	11,511.00	11,100.00	5,500.00	3,200.00	1,200.00	2,210.00	2,210.00	6,200.00	1,200.00	4,500.00	0.00	紙
村	11,511.00	0.00	5,000.00	1,100.00	0.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	2,000.00	0.00	3,100.00	紙
村	11,511.00	11,100.00	1,000.00	5,100.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	5,000.00	5,000.00	2,200.00	1,100.00	紙
計	27,190.00	10,747.00	21,600.00	11,000.00	4,330.00	11,510.00	1,940.00	1,947.00	2,600.00	3,200.00	1,200.00	3,200.00

ノ内板核ノ分ニ表共ニ故アリテ記入セス

煙草	麻	苧生	絲	蘭	茶	猪鹿	鮎	雜類	雜類	合計
200°	0°	0°	0°	1200°	0°	0°	100°	雜類 100°	雜類 1000°	11200°
400°	0°	0°	0°	500°	0°	100°	0°	果物 200°	0°	10000°
1100°	0°	0°	0°	1000°	0°	200°	1000°	0°	0°	10000°
2000°	0°	0°	0°	2000°	0°	200°	0°	0°	0°	10000°
0°	0°	0°	0°	0°	0°	1000°	0°	杉 1000°	0°	10000°
0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	魚類 100°	0°	10000°
4000°	100°	1000°	1000°	1000°	0°	500°	0°	松 100°	栗 100°	20000°
0°	1000°	5000°	5000°	1000°	0°	100°	0°	雜草 100°	栗 500°	10000°
0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	雜物及下駄 100°	栗 100°	5000°
4000°	1000°	8000°	8000°	6000°	1000°	500°	0°	雜魚 100°	0°	10000°
1000°	0°	1000°	1000°	1000°	0°	0°	0°	紙 200°	0°	10000°
4000°	1000°	1000°	1000°	1000°	0°	200°	100°	雜魚 200°	0°	10000°
10000°	4000°	10000°	10000°	10000°	0°	3000°	1000°	0°	10000°	10000°

記入セズ

明治廿七年九月廿四日印刷  
同年同月三十日出版

# 北桑田郡教育會編輯

發行兼  
編輯人

京都府丹波國北桑田郡山國村  
字比賀江第二番戶  
木庭新助

印刷人

京都市上京區下立賣通小川東入  
西大路町第十番戶  
中西嘉助

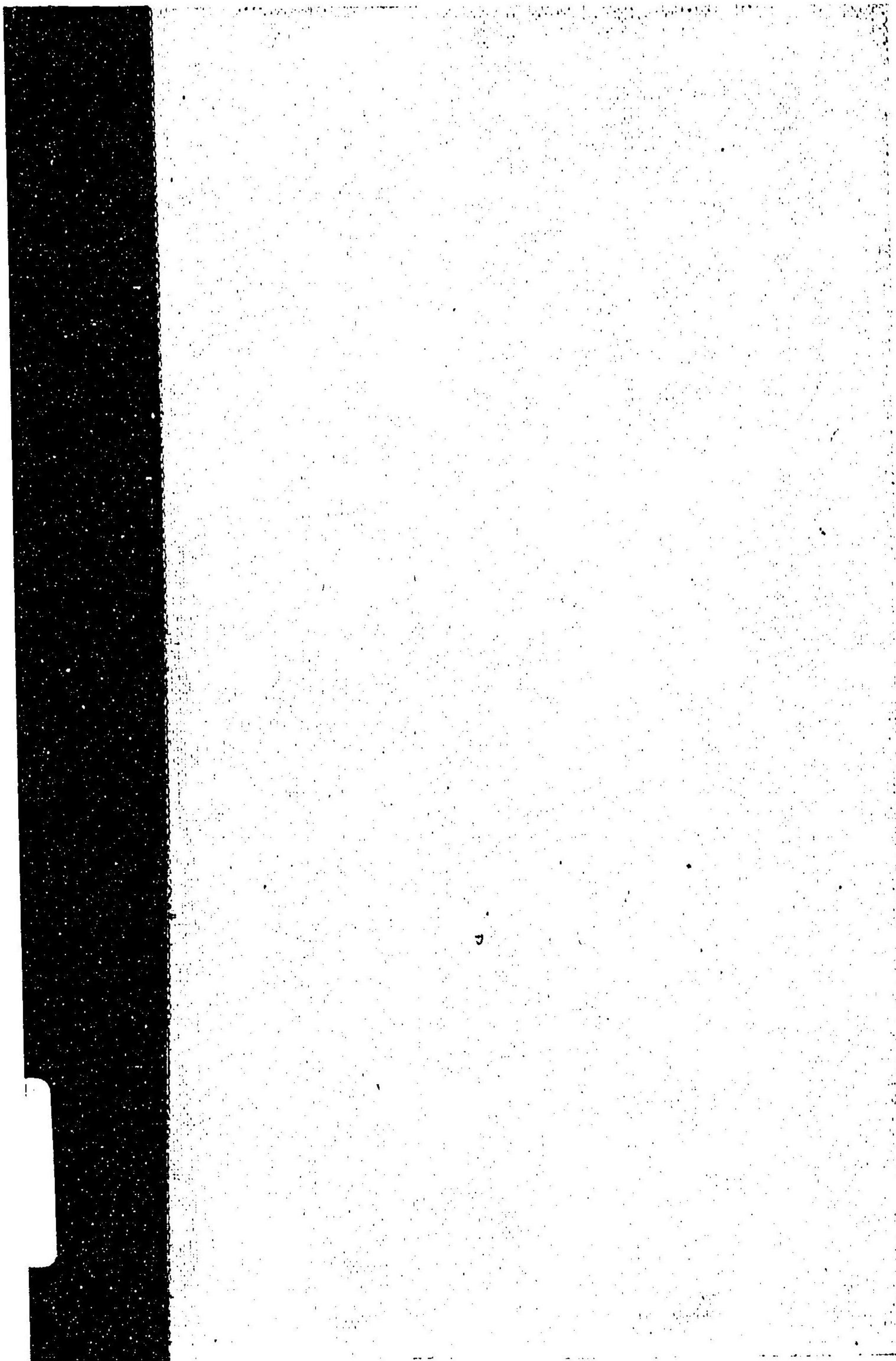
ex 369

明正人

明正人

明正人

明正人



025303-000-1

特29-990

北桑田郡誌

北桑田教育会／編

図版

M27

ADC-2729

